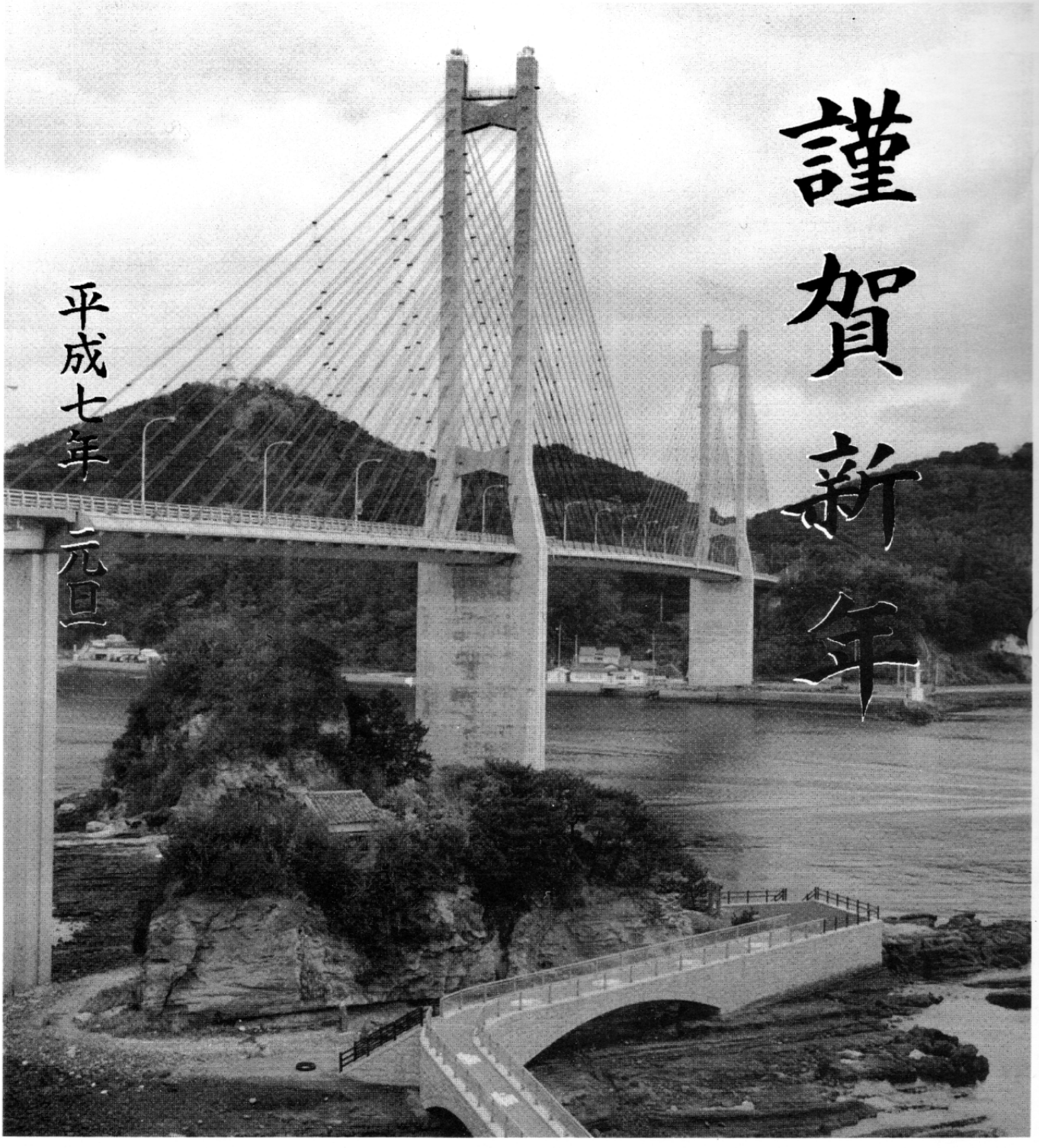
町報
よめづ
No.289
1995 (H7)
1



住みよい豊かな町づくりを目指して！

呼子町総合計画のための産業等部門別懇談会開催

呼子町では、昭和61年に策定した「豊かで活力に満ちた町」づくりのための長期的総合計画が、平成7年度の目標年次に達するため、今後の10年間に行なう事業計画等をあらかじめ定め、系統づけて総合性をもった町づくり策定作業をすすめています。

この総合計画は、私たちみんなの生活に直接関連し、将来の希望を託したものだけに、主権者である住民の参画は不可欠なものといえます。

このため、各産業や部門別の代表者の方たちが参加する懇談会が10月から11月にかけて行われました。

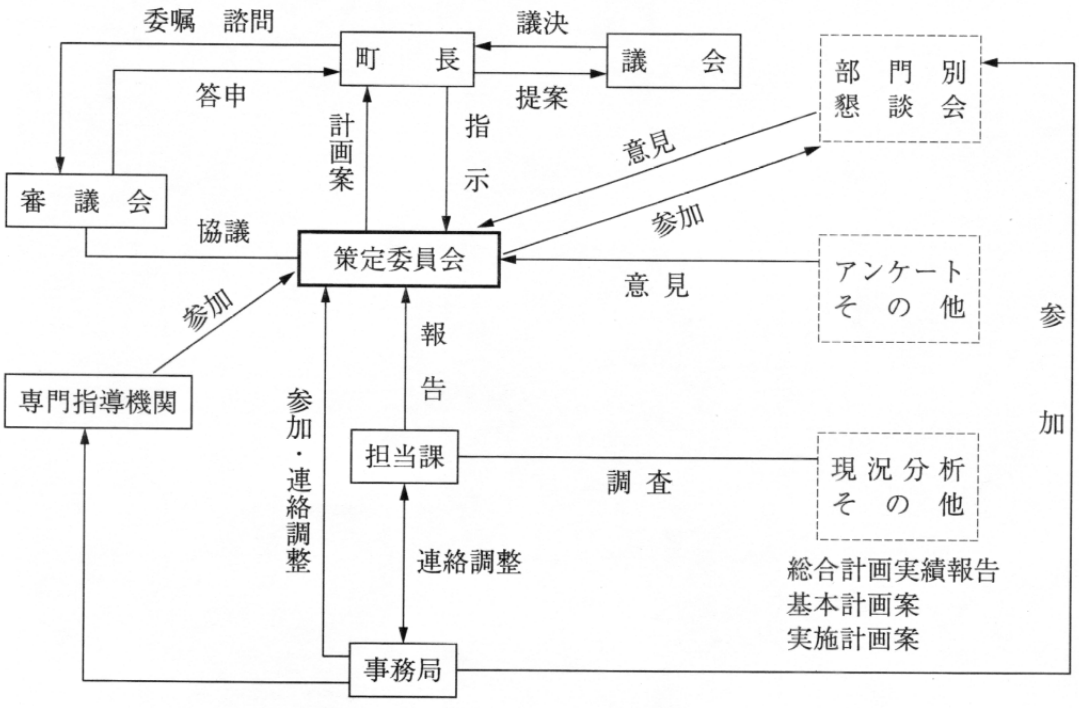
会議では、現在の基本計画の実施状況と現況分析結果が報告され、これに去る4月に皆さまから頂いたアンケート結果や現在の事業実施状況などが検討されました。

これらの呼子の現状をふまえて、各界の代表者から次々に貴重な意見、要望が述べられました。

今後、各部門別の第2回目の会議を経て、必要施策などがまとまり次第、計画素案として策定委員会にかけられ、新年度には呼子町総合計画審議会に諮問されることになります。

この審議会で検討のうえ、議会で議決されれば、平成8年度より将来を見据えた事業が皆さまの協力で動き出すことになります。

総合計画策定機構図



所得税と消費税の確定申告

申告と納税はできるだけ早めに正しく済ませましょう

平成６年分の所得税の確定申告と納税は３月15日までです。また個人事業者の消費税の確定申告と納税は３月31日までです。期限間近になると税務署は大変混雑します。確定申告はできるだけ早めに正しく済ませてください。

所得税の確定申告

所得税は、自分の所得と状況を最もよく知っている納税者が、自分で所得と税額を計算して申告し納税する「申告納税制度」を採用しています。

確定申告の対象者

①事業をしている人、不動産収入のある人、土地や建物を売った人などで、平成６年中の所得金額の合計額から配偶者控除、配偶者特別控除、扶養控除、基礎控除など所得控除の合計額を超える人。

②サラリーマンで、年収が１５００万円を超える人や給与所得・退職取得以外の所得の合計額が20万円を超える人。

所得税の還付

確定申告をする必要のないサラリーマンでも雑損控除や医療費控除、住宅取得等特別控除などを受けられる人は、確定申告をすれば源泉徴収された所得税が還付されます。

特別減税

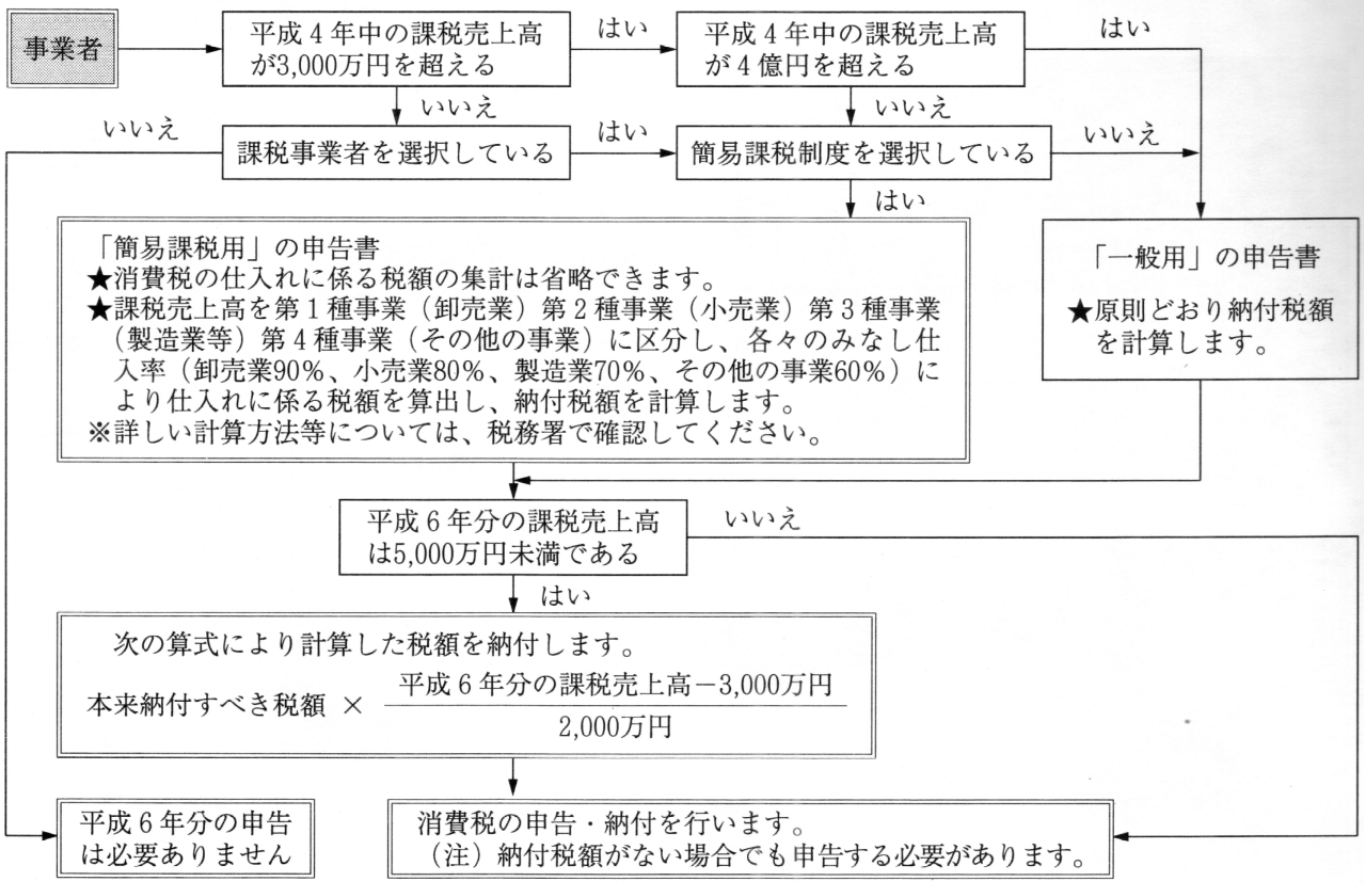
平成６年分の所得税について特別減税が実施されます。これは、平成６年分の所得税納税者に対して、原則としてその人の所得税額の20％相当額（２００万円を限度）を納付する所得税額から控除するというものです。

消費税の確定申告

消費税の課税事業者である個人事業者は、平成６年分の「消費税確定申告書」を作成して税務署に提出し、消費税を納付してください。

申告書は簡易課税用と一般用の２種類で、簡易課税用で申告する人は、平成４年中の課税売上高が４億円以下で、平成５年中までに「消費税簡易課税制度選択届出書」を提出している事業者です。

一般用で申告する人は、簡易課税制度を選択していない事業者か、簡易課税制度を選択していても平成４年中の課税売上高が４億円を超える個人事業者となります。



「寺子屋英会話のつどい」クリスマスパーティー

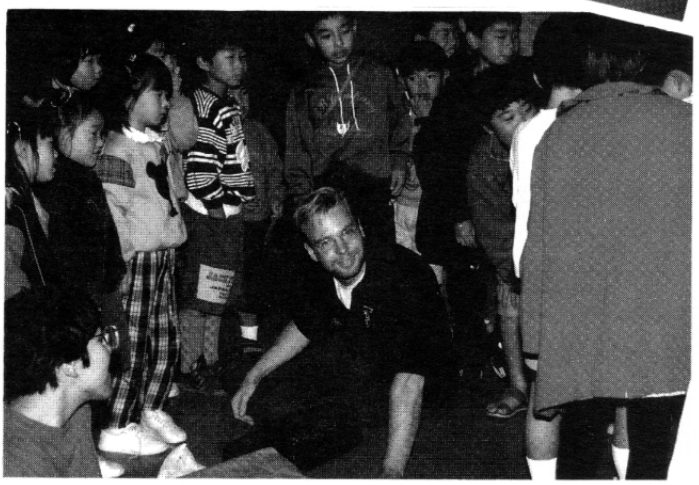
10月から行われている「寺子屋英会話のつどい」では、クリスマスパーティーを楽しみました。

小学１年生から６年生の約50名が集まり、ゲームなどをして楽しい時間を過ごしました。

呼子町の英語指導助手（ＡＥＴ）である講師のデビッド先生が考えたゲームやかわいいプレゼントに子供たちの笑顔は絶えませんでした。

楽しいゲームの中にも英会話を交えながら、自然に英語に親しんでいる子供たちでした。

将来の呼子は、英語と呼子弁の交った明るく楽しい町になるのではないでしょうか。



「星影のワルツを聞こう」同和学習会を実施して

昭和63年度から始まった社会同和教育啓発推進事業が今年度で最終回ということで、10月24日から11月28日までの間、呼子町全部落を対象に「星影のワルツを聞こう」同和学習会が開講されました。

各学習会とも啓発映画視聴のあと、唐津市教育委員会の市丸照美先生による“差別はまだ生きている”ということを身近な実例を挙げてわかりやすく話され、参加者も先生の講話を熱心に聞き入っていました。

最後に「星影のワルツ」を唄い、その歌詞の意味を説明されたとき、参加者の方は初めて理解されたようでした。

同和問題は、いまだに根強く残っています。私たち一人ひとりがこのことを正しく理解し、この問題を自分たちのことと考え、解決していかなければなりません。

呼子町バレーボール教室

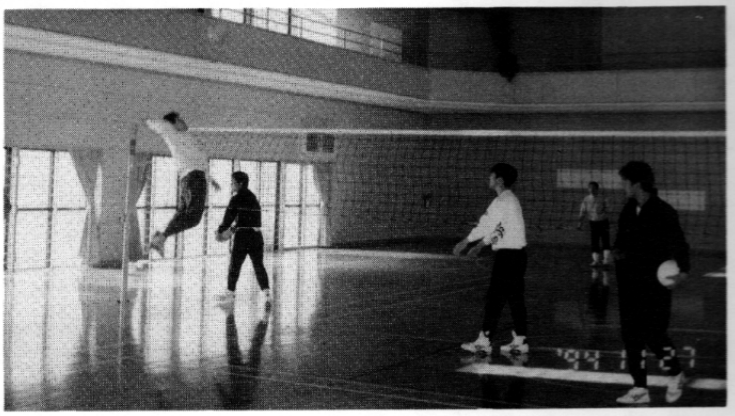
11月27日、呼子町体育協会バレーボール部の企画・運営によりバレーボール教室が開催されました。

これはバレーボールを通じて健康の増進と体力の向上を図り、明るく豊かな郷土づくりを目的に行われ、バレーボールの経験がない人にもバレーボールに親しんでもらい、交流の輪が広がることの願いを込めた教室でした。

当日は約40名の参加者があり、準備体操から基本的なパス、レシーブ、アタックの仕方などを教わったあと、男女に分かれて実践指導としてミニゲームを行いました。

参加した皆さんは最初戸惑いながらも、徐々に馴れてバレーボールの楽しさを味わいました。

来年も開催する予定ですので、もっとたくさんの人に参加してほしいとのことでした。



愛宕町婦人会軽スポーツ教室

12月11日、呼子町スポーツセンターにおいて軽スポーツ教室が行われました。

愛宕町婦人会の皆さん約30名の参加者によりペタンク、インディアカ、ターゲットバードゴルフ、グランドゴルフ、フライングディスクの軽スポーツ５種目がありました。

なかでもゴルフ感覚で楽しめるターゲットバッドゴルフに人気が集まりました。

そして、さっそく１月にはインディアカ教室を実行しようと、婦人会の皆さんははりきっていました。

これから町内には、誰でも簡単に親しめる軽スポーツの輪が広がっていきそうです。

佐賀県市町村職員海外研修報告 1

企画商工観光課　谷口博憲

㈶佐賀県市町村振興協会では、諸外国の行政実情を調査・研究させ、国際的な視野と識見をもった人材を育成する目的で、平成3年度から市町村職員の海外研修が実施され、今年で4回目です。研修には呼子町から今回が2人目で、幸運にも私が選ばれ参加させて頂きましたので町内の皆さまに12日間の研修（訪問国はイギリス、ドイツ、オーストリア、スウェーデン、フランスの5ヵ国）を旅日記という形でご報告申し上げます。

10月24日(月)

午前5時、呼子の朝はまだ薄暗い、物音一つしない静寂の中で簡単な朝食を済ませ、12日間の荷物が入った大きなスーツケースを車に積込み車上の人となった。

午前8時、福岡空港集合。県内市町村から30名が参加、添乗員から注意事項を聞きながら、期待と不安を胸に午前8時55分、最初の訪問国となるイギリスへ直行便が出る大阪・関西国際空港へ飛び立った。

いよいよ海外研修へ向かう第1段階、出国手続きが開始された。ここを通り抜けるともう外国である。

午前11時40分、日本を離陸、イギリスへ13時間の空の旅となる。途中、シベリア上空を通過、眼下に広がる不毛の大地は一面雪化粧に覆われている。

極寒の大地に人々が住んでいるのだろうか。先の大戦では、約60万人の旧日本軍が抑留され、1割の人が強制労働のため死んでいったと聞く。悲惨な戦争が二度と起こらないように、いつまでも平和であってほしい。

午後8時、日本の茶の間では水戸黄門が放映されている時間である。しかし、窓の外は依然として太陽が輝き、まぶしいくらいである。この狭いシートに座り続けて、もう9時間になろうとしている。みんな疲れているのだろうか表情はさまざまである。

25日午前0時25分、定刻通りロンドン・ヒースロー空港に無事到着。ここで時差が9時間あるため、時計の針を10月24日午後3時25分に戻すことになる。日本ではみんな寝ているというのに、ロンドンは昼下がりである。

外に出ると空気が爽やかだ。天気晴れ、気温12℃、寒さを余り感じない。確か呼子では21℃前後だったと思う。

緯度は樺太と同じなのに不思議だ。イギリスはメキシコ暖流の影響で比較的暖かいとガイドの説明に納得。呼子の海を流れる対馬暖流を思い出す。

夜、ヨーロッパで最初の食事である。一品ごとの料理が20分間隔に出てくる2時間を要する食事である。これから先が思いやられ、食文化の違いを改めて知る。

入浴、荷物の整理を済ませるともう午後11時、日本時間は10月25日午前8時。この日27時間も起きていたことになる。長かった1日が終わる。

10月25日(火)

緊張しているのだろうか、ヨーロッパでの最初の朝は午前4時に目が覚める。

午前中は市内の視察である。専用バスで英王室の居城・バッキンガム宮殿に到着。鉄格子の隙間から覗いてみるが、中はひっそりとしている。

タワーブリッジを背景に

ここにエリザベス女王が住んでいるのだろうか。途中、雨が降り始める。

次に訪れたのが城砦を思わせるロンドン塔、テムズ川に架かるタワーブリッジを背景にスナップを撮る。川の向こうには雨にけむる時計塔ビッグベンが見える。ここを背景に雨中の記念撮影、うまく撮れているだろうか。

午後からバスで高速道路を一路ミルトン・キーンズへと向かう。高速道路が無料と聞き、日本の料金の高さが気になる。沿線は構築物、看板等が一切ない。これはグリーンベルト法により緑地帯が設定されているためである。

まさに両サイドはゴルフ場なみの景観である。そういえば昨夜見たロンドンの街並みは素晴らしかったが、ネオンもなく街灯の明かりだけが寒々しく光っていたのが印象的であった。

英国政府環境省ニュータウン開発委員会に到着。都市開発についての研修である。

説明によると、ミルトン・キーンズはイギリスの過剰人口を吸収するため、政府による開発公社が設立され、30年計画でニュータウン建設がスタートし、開発面積9千ha、住宅用地が55%、定住人口25万人を計画したところである。

現在の土地利用は、住宅地42%、公園・緑地14%、道路14%、商業地域・大学・病院等10%、企業立地12%となっている。

このようにニュータウンの特徴は自然環境との調和が図られ、美しい景観の中に施設群が設置され、職住近接型の新都市が誕生したのである。もともと、この町は人口4万人の小さな田園地帯であったが、新都市建設により、現在15万5千人が住んでいる。

また、開発地域内の土地価格を30年間も凍結し、価格の上昇を防いでいるとのことであったが、日本では考えられないことである。

10月26日㈬

午前4時起床、緊張感がまだ続いている。天気くもり、今日はドイツへ移動する日である。

午前9時30分、ロンドン・ヒースロー空港を離陸し、午前11時、ミュンヘン空港へ到着。時差の関係で時計の針を1時間進め、午後12時にセットする。1時間損をしたような気がする。バスに乗り市内の視察に向かい、途中、ドイツが世界に誇る高速道路アウトバーンを走る。ここでも、高速料金は無料である。

ミュンヘン市内で100年前に建てられたというネオ・ゴシック様式のミュンヘン新市庁舎を視察。教会のような美しい尖塔がそびえ立つ、文化財みたいな建物の中で職員はどんな仕事をしているのだろうか、ただ見上げるばかりである。

庁舎前の広場（マリエン広場）には、テーブルが並べられビアガーデンといった雰囲気の中で、老夫婦や若い青年たちがジョッキを片手に談笑している。ミュンヘンはミルウォーキー、札幌とならんで世界三大ビールの本場でもあり、やはりドイツ人はビールが好きな人種のようだ。

今夜は本場の味を賞味。大ジョッキに注がれた濃い色にホップの匂いが少し強めのビールとソーセージ、見ただけで美味しそうである。

本当は雰囲気がそうさせるのかもしれない。考えてみれば呼子にもあった。「呼子のイカ」である。呼子で食べるから美味しいと聞く。本場の味とは、こういうものかもしれない。

10月27日㈭

ドイツ・バイエルン州のミュンヘン農業局を訪問し、バイエルン州の農業について研修を行った。

説明の中で、農業教育は専門的な教育を受けさせることによって各種の資格を取得させ、農業経営、菜園、畜産、営林、酪農そして公園・駐車場・道路・墓地等、緑地の設計に携わる園芸など複合的農業経営を図ることに重点がおかれているとのことであったが、農業経営の厳しさから農業離れが進行しているのも事実であった。

午後からはドイツ・ミュンヘン中央駅から国境の町ザルツブルグ経由でオーストリア・ウィーン西駅まで5時間、国際列車での移動である。

車窓からの眺めは素晴らしく、広大な緑の大地に田園風景が続いている。

起伏のある丘に点在する小さな集落には、民家の赤い屋根、教会の尖った青い屋根が映え、遠くには雪に覆われたチロルの山々が見える。

まるでメルヘンの世界にいるようである。

ミュンヘン農業局での研修

呼子歴史探訪 2

日浦清人

呼子三神社

まず始めに江戸時代に入って英彦山の名をもった神社の山伏衆の修験度が復活し、英彦山内における衆心の復活がみられ、そして山の安定もみられるようになった。加えて九州諸藩の藩主の崇敬を盛り返し、寄進・参拝の度が増え、多数の信徒に支えられていった。

時の佐賀城主の鍋島氏は、かつて彦山に祈願したことが成功し、そのお礼として彦山神社の社殿の建造（一六三三年）や鳥居の寄進など彦山神社の再建に尽力する傍ら、佐賀藩の領民などにも信仰を促したため、藩の領民の間にも深い伝統的なつながりが生じた。

また単に各藩の動きでなく、いろいろな不安要因の重なった豊臣氏、徳川氏間の戦国時の民衆が、全国的な拡がりをみせてきた権現思想の中で、九州英彦験現の信仰との結びつきが生じた。

もう一つには、英彦山の神・天忍穂忽尊がお伊勢さんの子神ということもあって、「お伊勢参り」の略式として、遠い伊勢より近くの彦山へと英彦山講までできて、信仰の輪が広がっていった。と同時に膝元の英彦山でも山伏たちの受け入れの場が坊をつくって信者を受け入れた。

坊はお寺様のように一つひとつ独立採算性で、坊が大きくなればなるほど、坊中の山伏たちも楽になるので、山伏たちも自分のいる坊に全力を尽くした。

その目的の一つにも根拠地を作り上げるべく坊の力を注いだのである。

このような世情の流れの中で、特に壱岐・対馬の人々の信仰は厚く、いま歴史を振り返ってみても、この地方の各地に権現社の多いことに気がつく。

さらにまた、当時慶安二年（一六四九年）唐津藩主として転封された大久保氏はこの年より二九年間唐津藩の藩政をとることになるが、大久保氏の産土神が山王権現であったことも彦山の神々の勧請にあずかって力になったかもしれないことである。

以上のような呼子周辺の英彦山権現社信仰の世情もあって、呼子の村の人々も三神社に妙泉坊四代・五代修験者により勧請されて英彦山大権現の神々を迎え、呼子三所大権現社が創現された。

そして数々の修行を重ねて彦山派の御目見山伏に成人した六代孫妙泉坊歓智に宮司の座がうつされたのであろう。

呼子港は、海上交通で往来される藩主が休息される港でもあった。その頃の呼子三所大権現社も藩主の代参や請願などで忙しく盛んであった。

歓智の代からは境内の整備もみられ、呼子三所大権現として明治まで続き、明治元年になって権現号を公然と名乗ることが禁じられて、『呼子三神社』となる。

妙泉坊歓智は安永四年四月没（一七七二年）し、七代の妙泉坊歓廣が宮司として神々を奉斎されたようであるが、それからは妙泉坊の代々の修験者によって奉祀されたと考えられるほかは確かではない。

末社　熊野三神社
祭神　速玉男尊、家都御子尊、夫須美尊

呼子村字彦の上に鎮座の社を大正七年十月十八日に移転。

紀伊国の熊野三山の分神と思われるが速玉大神は熊野川を御神体とされ、本宮大社の家都御子大神は素戔嗚尊の別称で、那智大神の主神は夫須美大神で御神体は那智の滝ということである。

今も昔も海上交通の要所である呼子港

平成７年度 保育所入所申請について

下記の日程により保育所入所申請の受付が実施されます。

★小川島保育園
◎日時　２月６日（月）13:30～
◎場所　小川島漁村センター

★加部島保育園
◎日時　２月７日（火）11:20～12:50
◎場所　加部島開発総合センター

★呼子保育園・殿ノ浦愛児園
◎日時　２月８日（水）～10日（金）
9:00～17:00
◎場所　社会体育館　２階

入所対象児は、それぞれ０才～５才です。
入所申請書等は、各保育園及び役場福祉係に用意してありますので、事前にお受け取りください。

●問 合 先　役場福祉係　☎82－3011（内線121）

母子寡婦福祉資金貸付申請について

平成７年度に新たに入学する児童とすでに在学中の児童の修学、修業等に必要な資金の貸付を目的とする母子寡婦福祉資金（修学資金等）の貸付申請受付が実施されます。

●期　　間　１月23日(月)～25日(水)
●提出書類　申請書、戸籍謄本、住民票、所得額・税額証明書
（申請書等は福祉係にあります。）
●問 合 先　役場福祉係　☎82－3011（内線121）

けん銃情報の提供を

けん銃は企業幹部襲撃事件、現金輸送車襲撃事件、無差別けん銃発砲事件など国民生活の安全に脅威を与えています。

このため警察では、連続してけん銃の特別取締りを実施し、昨年は全国で1,672丁（県内で12丁）、さらに本年10月末現在、全国で1,431丁（県内で９丁）を押収しました。

銃社会アメリカの悲劇を招かないため、社会からけん銃を一掃しましょう。

●連 絡 先　呼子警察署　☎82－3024

新春読書感想文コンクール作品募集

●応募資格　県内小・中・高校の児童生徒、勤労青少年及び成人
●対象図書　自由図書　教科書・雑誌を除く図書
課題図書　主催者が指定する図書
（小・中学生のみ）
●原稿枚数　小学生は400字詰原稿用紙３枚、その他は５枚（特別の場合を除き自筆で）
●応募方法　作品には必要事項を記入した「応募票」を作品右肩に貼付し、作品は右肩綴じ
●送 付 先　小・中・高校生は各学校を通じ各地区の学校図書館事務局へ、勤労青少年・成人は佐賀県立図書館普及課へ
●締 切 日　児童・生徒　地区事務局の締切日
勤労青少年・成人
平成７年１月21日(土)
●問 合 先　各地区の学校図書館事務局
県立小城高等学校
☎ 0952－73－2295
佐賀県立図書館普及課
☎ 0952－24－2900

国の教育ローン年金教育資金貸付

この貸付制度は、年金積立金を原資に還元融資の一環として、厚生年金保険・国民年金に10年以上加入している方が、入学時や在学中の教育費を低利で借りることができる制度です。

またこの貸付は国民金融公庫の一般教育ローンと併用もできます。

●融資金額　学生・生徒一人につき100万円以内
（国民年金は50万円）
●返済期間　８年以内（据置期間は在学期間内で最長４年）
●利　　率　年4.9%（平成６年12月１日現在）
●問 合 先　㈳佐賀県年金住宅福祉協会
☎ 0952－29－0044

法定調書の提出をお忘れなく

平成６年分の法定調書の提出期限は平成７年１月31日(火)までです。

提出もれがないようにお願いします。

詳しくは、最寄りの税務署にお尋ねください。

短歌

呼子短歌会

戦後五十年この平和成り佐用姫を祀るみ社の幟勢ふ　小笹妙子
束の間もよこたふ我に常になくいたはる夫は立居優しき　日浦歌子
万葉の領巾ふる佐用姫おもわせて天童岳に奇しき霧たつ　石井政幸
山寺は市中(まち)より温度低かりき素足の廊下身を引き締めぬ　小宮硃鈴恵
徳衛ェ門燈籠灯る弘毅(こうき)の忌夕風寒し忠魂碑　林　猪八郎
癒えぬまま六度の年の逝かんとす迂遠にすぎし日々を儚む　山下和子
香煙のたなびく杜にふりさけて視界はるかに唐津城見ゆ　矢野京子
追憶の中に加えし灯の一つ消えし長屋の窓に浮く影　小峰国子
良き嫁を迎へえたりし幸せを神に謝しつつ日々暮らしをり　奥野シヅ子
瀧まではついて行けずに旅宿のユーカリを打つ冬時雨聞く　中野小静
炭継ぎて炉にかかりいる釜の湯の茶室に生れし松風の音　浜口エイ子
無人駅乙女が降りしその席に秋の夕陽がかわりて座る　伊藤公江
父の里七山村にて生産者の名前入りたる野菜買ひ来ぬ　谷口かよ子
留守居せし夫に土産の長寿箸求めて秋の讃岐路を行く　舩坂洋子
初夢にシンガポールの街を往く日本語のわかる姑娘(クーニャン)と二人　小笹博美
五重の塔色褪せたるを仰ぎつゝ老杉並木の木洩れ日の中　小出ツギ子
被写体を求めて歩く深山路紅葉を燃やしダムは静もる　伊藤ヒデ子

俳句

呼子句会

嚔出る前の顔にてありにけり　丸井美津子
休診の札かゝりけり年忘　川崎政枝
使ひすて懐炉をいれて厨守る　熊本照子
ころ〳〵と落葉追いゆく落葉かな　柴田紫田

こんにちは保健婦です

親と子のかかわり合い

―子供をストレスから守ろう―

学校から帰れば、遊ぶ時間もなく塾通い。学校へ行けばいじめに遭い、家の中では親子の会話もなく……。物にいくら恵まれていようが子供達を取り巻く環境には多くの厳しい問題が潜んでいます。そうした環境を子供達が生き抜くためには、やはりわが子を見守る親の愛情がなくてはなりません。子どもの個性を尊重した、いい親子関係の構築。親と子を結ぶ絆を改めて見直してみましょう。

★あなたのお子さんは大丈夫ですか?

子供達は今、さまざまな問題で心を悩ましています。その証拠に、精神的不安定状態からくるいろいろな症状が多くの子供達に表れてきているのです。ここではその代表的なものをお話しましょう。

①登校拒否

特に体に異常があるというわけではないのに、朝になると、腹痛や頭痛といった体の不調を訴えるというのが、登校拒否の子供に一様に見られる症状です。

登校拒否が生じる背景には本人の自我の未発達やいじめといった問題も隠されているのですが、それ以外に、親の過保護や過干渉といった家庭内の影響も大きいといえます。登校拒否の子どもを無理に、引っ張って学校へ連れていくのは逆効果です。専門医や専門の臨床心理士のカウンセリングを受けさせるのがよいでしょう。

②チック症

3~16歳ぐらいの子ども特有の症状で、緊張すると肩から上の筋肉が自分の意思とは関係なく頻繁に収縮運動を行うというものです。症状に個人差はありますが、舌打ちを繰り返したり、まばたきを頻繁にしたり、肩をすくましたりするのがその代表的なものです。精神的不満や心配ごとなど過剰なストレスが原因なので、根本的にそれらの原因を取り除いてあげる必要があります。

みんなの広場

今年は亥年

今年は亥年――。十二支の最後の干支です。

イノシシは、日本では北海道、東北、北陸の一部を除いた広い範囲に分布しています。

猪首という言葉があるように、イノシシは首が短い独特の体形をしています。

口吻（口先）が長く、その先に円盤状の鼻があり、首から背にかけての剛毛は怒ると立つので怒り毛と呼ばれています。

イノシシは、雑食でキノコやタケノコ、ヘビやカエル、ミミズなども食べ、さらには夜間に食べ物を求めて人里に現われ、農作物を食い荒らしたりします。

また〝ぬたを打つ〟という体に泥を塗る習性があるので田んぼを荒らすこともしばしばです。このため、人間はイノシシを害獣として、畑や田んぼに垣などをめぐらし、イノシシの侵入を防いでいます。

人間は昔からイノシシをさまざまに利用してきました。肉は獣肉を食べることを避けていた時代から「山クジラ」と呼んで食べ、毛はブラシに、歯は印材に、皮は靴用にと使われたそうです。

イノシシといえば、猪突猛進という言葉を連想します。でも今はゆとりの時代で、暮らしにメリハリをつけ、猪突猛進したらゆっくり休むようにしたいものです。

成人式は
1月5日㈭
10時受付
社会体育館

1995年農業センサスにご協力を

農林水産省では、平成7年2月1日を期して「1995年農業センサス」を実施します。

農業センサスは、5年に一度実施される農業に関する最も基本的な調査で、全国の農家、農家以外で農業を営む事業体、農業サービス事業体及び旧市区町村のすべてを対象として行なう「農業の国勢調査」ともいうべき、極めて大規模な調査です。皆さまのご協力をお願いします。

町税の納期のお知らせ

国民健康保険税　第7期
町県民税　第4期

納期限　平成7年1月31日

納税には便利な口座振替のご利用を！

1がつ くらしのカレンダー

5日(木)	◇成人式	社会体育館
6日(金)	◇消防出初式	臨港道路
9日(月)	◇心配ごと相談	9時～12時 老人福祉センター
	◆健康相談	13時30分～15時30分 小友集会所
12日(木)	◆2才児歯科相談	13時30分～14時30分 社会体育館
17日(火)	◇心配ごと相談	9時～12時 老人福祉センター
	◆健康相談 ◆乳児相談	13時30分～15時30分 社会体育館
18日(水)	◇介護者教室	13時30分～15時30分 デイサービスセンター
23日(月)	◇心配ごと相談	9時～12時 老人福祉センター
	◇ふれあい昼食会	11時30分～ 社会体育館
	◆健康相談	13時30分～14時30分 片島公民館
25日(水)	◆機能訓練	9時～15時 社会体育館
30日(月)	◇心配ごと相談	9時～12時 老人福祉センター

明暗

（敬称略）

こんにちは赤ちゃん

松本　晃（公徳　二男）　海士町
八木　隆矢（正治　長男）　殿浦西
平井　貴大（敏博　長男）　小川島

おくやみ

丸井八郎　78才　宮ノ町
松本ミト子　58才　松浦町
篠原　新　87才　殿浦岡
金丸婦志榮　84才　片島

香典返しお礼

丸井ミツコ（故夫八郎）
松本　仁（故姉ミト子）
佐々木クニコ（故二男　稔）

あとがき

▼お正月といえば、凧揚げや独楽をまわして遊んだ記憶がありますが、最近ではあまり見かけなくなったと思いませんか？近頃はテレビゲームやファミコンを楽しんでいるのでしょうか。時代の流れを感じる今日この頃です。

▼お正月のもうひとつの楽しみは「お年玉」。もらっていたときはふところがホクホクで何も思わなかったんですが、いざ今度は渡す立場になると結構お金がいることか……子供さんや身内の多い方にご同情申し上げます。　Ⓝ

人の動き

11月30日現在（前月との比較）

総人口	6,934人	（－ 1）
男	3,313人	（－ 2）
女	3,621人	（＋ 1）
世帯数	2,121世帯	（＋ 4）

発行／呼子町
編集／企画商工観光課
印刷／㈱ニオカ印刷